

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成21年7月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

- **需要面**…個人消費は、弱い動きとなっている。
大型小売店販売額は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(4月)
公共工事請負金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額は前年を下回った。(5月)
- **産業面**…鉱工業生産は、下げ止まりつつある。
鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を上ったが、原指数は前年を下回った。(4月)
- **雇用面**…雇用情勢は、厳しい状況にある。
きまって支給する給与、所定外労働時間とも前年を下回った。(4月)
求人倍率は、新規は前月を下回ったが、有効は同水準だった。新規求人数は前年を下回った。(5月)

○需要面の動き

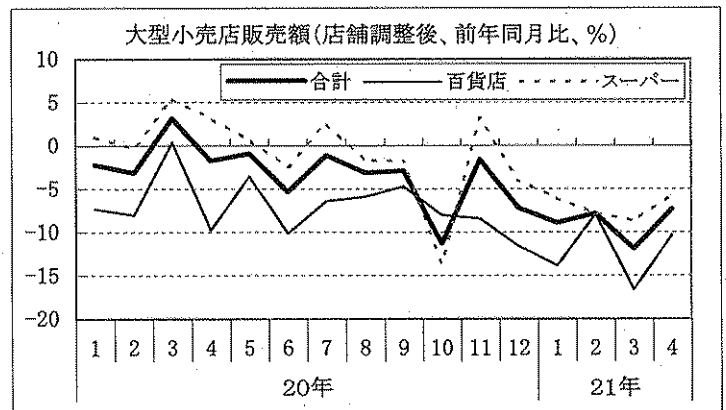
大型小売店販売額(4月)

全店舗の販売額は、48億1,900万円(前年同月比7.3%減)と13か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも13か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	481,885	▲7.3	(▲7.3)
百貨店	164,751	▲10.3	(▲10.3)
スーパー	317,134	▲5.7	(▲5.7)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(4月)

33億2,100万円(前年同月比0.9%増)と7か月ぶりに前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(5月)

1,191台(前年同月比13.6%減)と10か月続いて前年を下回った。普通車、小型車、軽自動車とも前年を下回った。

新設住宅着工戸数(5月)

181戸(前年同月比21.0%減)と5か月続いて前年を下回った。減少の内訳では、持家系の減少(前年同月比43.6%減)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(5月)

1億7,100万円(前年同月比73.4%減)と4か月続いて前年を下回った。用途別では、宿泊業・飲食サービス業が前年ゼロであったため皆増となったが、他はゼロか前年を下回った。

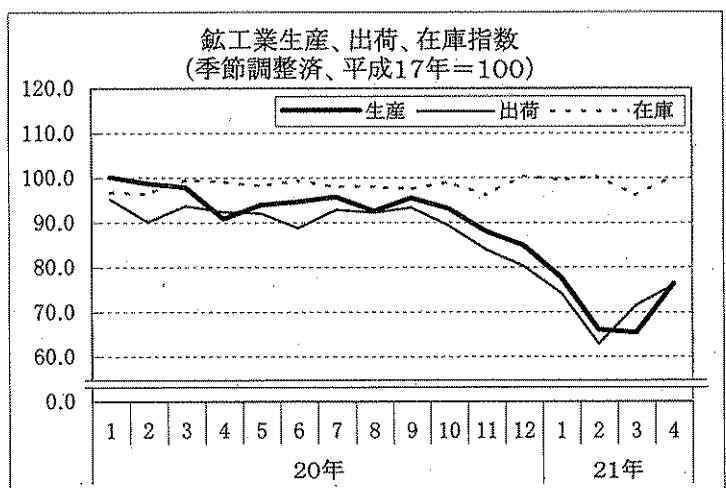
公共工事請負金額(5月)

90億9,000万円(前年同月比22.2%増)と4か月続いて前年を上回った。発注者別の内訳では、市町村(前年同月比201.7%増)が前年の3倍となっている。

○産業面の動き

鉱工業指数(4月)

生産指数(季節調整済)は76.4(前月比16.6%上昇)と7か月ぶりに上昇となったが、原指数は76.6(前年同月比15.9%低下)と7か月続いて低下した。
内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが5.3%上昇となり3か月連続して上昇、電子部品・デバイスが21.9%上昇となり6か月ぶりの上昇、電気機械が15.5%上昇となり2か月続いて上昇、一般機械が23.2%上昇となり6か月ぶりの上昇となった。
在庫指数(季節調整済)は100.3と前月比4.4%上昇した。



大口需要電力実績(4月)

106,560千kwh(前年同月比16.7%減)と9か月続いて前年を下回り、鉱工業用電力も主要4区分の全てで減少した。

青果物卸売量(5月、鳥取市場)

野菜が1,637t(前年同月比5.1%減)と前年を下回り、果実は802t(前年同月比7.1%増)と前年を上回った。

漁獲量(5月、境港)

8,678t(前年同月比2.9%減)と前年を下回った。

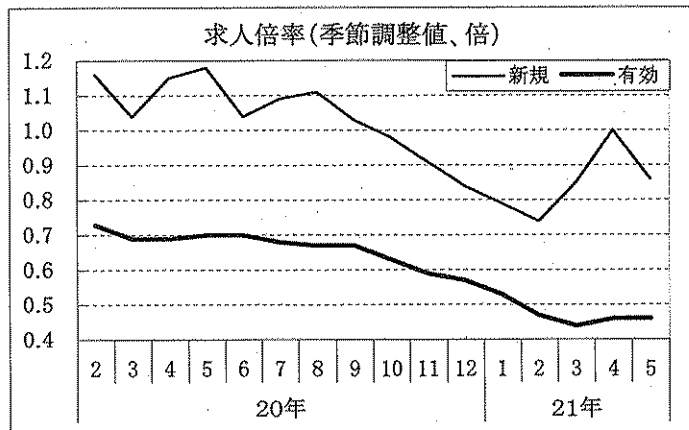
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(5月)

0.86倍(前月差0.14ポイント低下、前年同月差0.32ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、2,916人(前年同月比23.8%減)と20か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(5月)

0.46倍(前月と同水準、前年同月差0.24ポイント低下)と0.5倍を割っている。



現金給与総額(4月)

244,358円(前年同月比2.9%減)と4か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、241,122円(前年同月比3.5%減)で11か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(4月)

6.7時間(前年同月比31.2%減)と9か月続いて前年を下回った。主力の製造業は60.9%減となった。産業別の前年同月比では、電気ガス水道業(前年同月比44.8%増)等で前年を上回り、複合サービス事業(前年同月比51.5%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(4月末)

預金残高は、1兆9,038億円(前年同月比2.9%増)と4か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,267億円(前年同月比0.8%減)と32か月続いて前年を下回った。

○参考

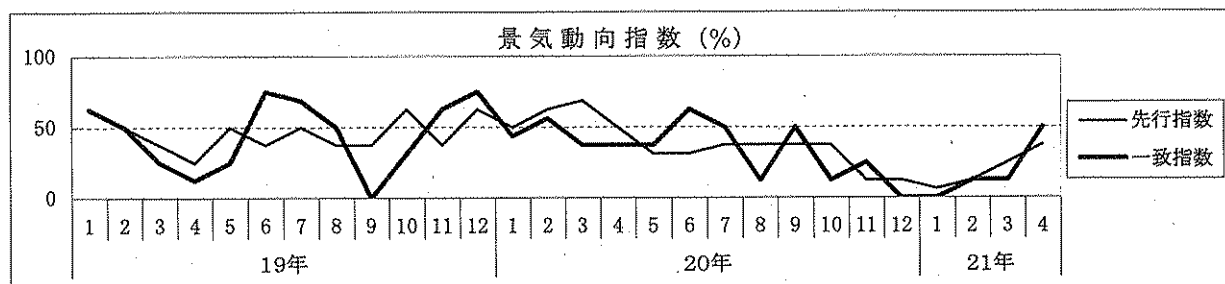
鳥取県景気動向指数(4月)

先行指数37.5%、一致指数50.0%、遅行指数0.0%となった。

先行指数は13か月続いて50%を下回った。

一致指数は7か月ぶりに50%以上となった。

遅行指数は8か月続いて50%を下回った。



企業倒産(5月)

件数は3件(前年同月比25.0%減)で2か月続いて前年を下回り、負債総額は5億5,000万円(前年同月比74.9%減)で4か月続いて前年を下回った。

消費者物価指数(5月、鳥取市、総合、平成17年=100)

100.1となり、前月比(▲0.1%)は低下となり、前年同月比(▲1.0%)も低下した。

鳥取県の推計人口(6月1日現在)

591,740人で、前月と比べて166人(0.03%)減少し、前年同月と比べて4,008人(0.67%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成21年5月調査)

平成21年4~6月期は、平成21年1~3月期に比べると景気がきわめて不調で、売上高、経常利益が不調となっている。

平成21年7~9月期は、平成21年4~6月期に比べると景気、経常利益が不調となり、売上高はやや不調となる見通しとなっている。